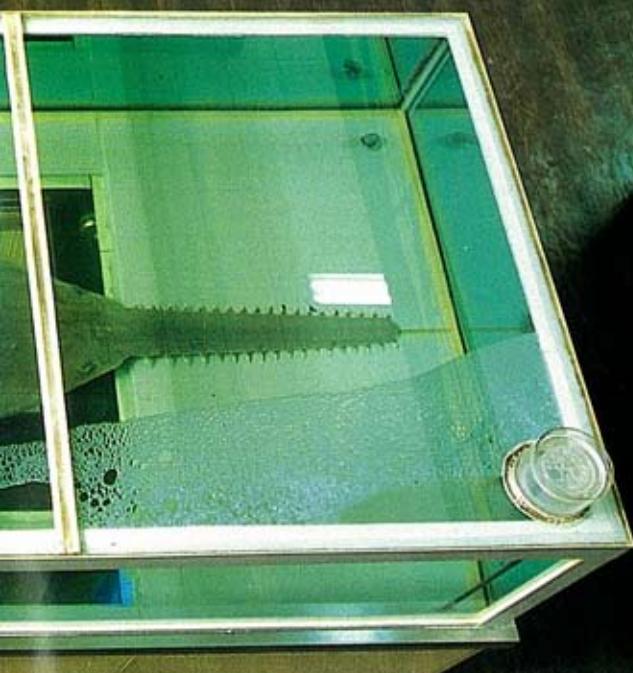


神戸の風色

KOBE•FUSHOKU

堀内初太郎 N.O. 46





KANEKO PEARL

サムシングの香り
サムシングの香り

パールネックレス
¥1,600,000
K18・Pt・ダイヤ・ルビー・サファイア

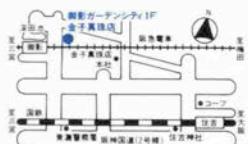
どこか謎を秘めた女性。歩く姿、話す仕草…そのひとつひとつにえも言われぬ魅力を発散させている。

KANEKO PEARLのやわらかな光の中にあなたのサムシングを——。

——真珠・宝石——
金子眞珠店

御影ガーデンシティ

神戸市東灘区御影山手1丁目 ☎078(822)0581 〒658



海辺は、
もう、すっかり秋の色。
軽やかなロンドにのって
ほら、真珠たちがおしゃべりをはじめています。



WHOLESALE & EXPORTER of Cultured Pearls
KINOSHITA
PEARLS *Order Salon*
CO.,LTD.

〒650 神戸市中央区山本通1丁目7-7(北野坂)
TEL (078) 221-3170
10:00a.m.~6:00p.m. 木曜日定休



002 パステル&デミバフロングコート ￥5,200,000



•コーディネーター 小山竜太郎

Salon de
KOYAMA
24-8 FUKUHARACHO
HYOGO-KU KOBE

PHONE(078)576-0035



キャミソール(ブルー) ¥ 36,000
ガウン(ブルー) ¥120,000



キャミソール ¥22,000
フレアーパンツ ¥19,000



ガウン(バーブル) ¥126,000
ナティー(バーブル) ¥ 99,000

Lingerie
KOYAMA
24-8 FUKUHARACHO
HYOGO-KU KOBE

PHONE(078)576-0035



一つ一つをじっくり焼きあげた手造りのクッキーです。

デセールショアジ

缶入 1,500円 15S
缶入 1,300円 13s



チーズの風味をいかして焼いたパイとアーモンドをのせて焼きあげたアーモンドパイなどサクッと溶ける口当りの軽さは最高です。

ギャレット デ ロワ

缶入 1,500円 15S

パレ・オ・ショコラ

デセールショアジ——選びぬかれた味のクッキーです。



パレ・オ・ショコラ

缶入 1,500円 15S

フレッシュバターと卵をぜいたくに使って焼きあげた風味豊かなラングドシャに、スイートなチョコレートをサンドしたおしゃれなクッキー。心なごませるやさしい風味と、手づくりのぬくもりがお友達との午後のティータイムをさりげなく演出します。



神戸
風月堂

本社・神戸市中央区元町通3丁目3-10 ☎ (078) 321-5555

これは神戸を愛する人々の雑誌です
あなたの暮らしに楽しい夢をおくる
神戸を訪れる人にはやさしい道するべ
これは神戸っ子の手帖です

10月号目次 ● 1983・NO・270

表紙／小磯良平 セカンドカバー／スケッチブックから(58) ヨーロッパを描く／西村功

神戸っ子(3)／北浦洋子／川崎大二朗
ある集い／ルネッサンス会

こんにちわJCです

コウヘスナップ

エトランゼの輪郭(20) 南 和好

神戸の風色(45) 堀内初太郎

わたしの意見／金井元彦

随想／東郷武久／白羽強仁／小山乃里子

ある集いその足あと／野沢太一郎

詩心集(16) 詩・安永和利／絵・石阪春生

れんざいエッセイ(5) 女の実力／小原椎子

エッセイ／トランベット片手に／ラジル／人旅／右近雅夫

インタビュー／中村教夫に聞く

地域文化論／宗教の新しい試み／笠原芳夫

ファッショントピック／兵庫県副知事・貝原俊民

さわやかインタビュー／文化ホール10周年座談会／北嶋敏男・柴田仁

板東文化・デザイン会議(3)／多田美波

日本文化デザイン会議(3)／多田美波

キヤンペーン／明日の神戸経済をつなぐ中堅企業群像

経済ボケットジャーナル

話題のひろば(1)／月刊オール関西／よいよ復刊へ

ファッショントピック／オックスフォード

KOBE FASHION SPOT

NEW MODE MARCHEN／藤原順子

コウベナウ(1)／谷川浩司名人位獲得記念パーティ

動物園育日記(2)／亀井一成

話題のひろば(2)／月刊オール関西創刊50周年式典

ファッショントピック／オックスフォード

KOBE JAZZ STREET／末広光夫・中谷衣里・川崎啓一

有馬城時記(10月)

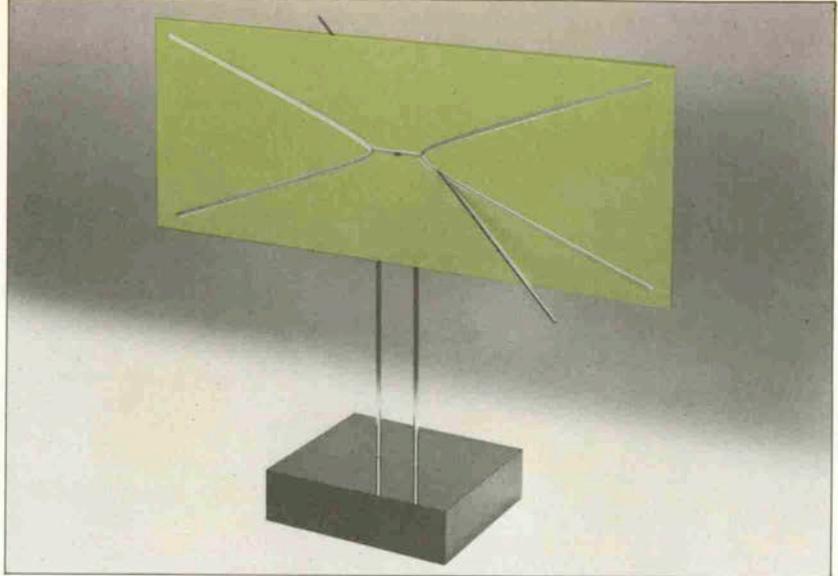
ふたたびブロフェッサーPの研究室／岡田淳

神戸を祝福の町に(18) 橋本明

兵庫界隈記

目次作品／田中 薫「スワン」1982アルミ合金45×14×38

写真提供／大阪・現代彫刻センターア



182 180 158 152 150 149 146 139 136 134 132 130 128 124 122 118 108 86 84 76 74 73 72 66 65 60 58 56 48 47 42 40 38 36 35 31 29 19 18 16 15 14 13 9
多田智満子・午後の対話／ゲスト・三枝和子
連載小説／霧の朝(2)／福岡勝利／繪・辻司
ナイスピーブル／イラン人のおムコさんは亭主関白？／臼杵
海船港／船もスティング？／上海パンスキング／中川宗和
ボケットジャーナル
びつといん
多田智満子・午後の対話／ゲスト・三枝和子
連載小説／霧の朝(2)／福岡勝利／繪・辻司
ナイスピーブル／イラン人のおムコさんは亭主関白？／臼杵
海船港／船もスティング？／上海パンスキング／中川宗和
ボケットジャーナル
百合子
カメラ／米田定蔵・後藤 橋本英男・速水 享・中村昇治・田村 康
松原卓也

ART SPACE ギャラリー北野坂

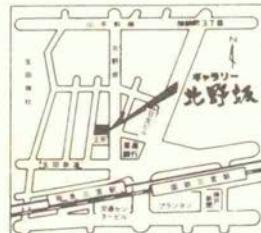


当画廊の御好意により、10月、11月を私達KOBE二紀会のダイナミックな企画による密度ある美術展を開催すべく準備をすすめて居ります。



KOBE
二紀会

中西 勝



人間広場

ギャラリー 北野坂

〒650 神戸市中央区中山手通1丁目8-18(互賀ビル1F)

阪急三宮駅東口から山側に徒歩2分

TEL (078) 391-6170 AM11:00～PM7:00 火曜定休

開館一周年記念特別展

「古地図にみる世界と日本」展

— 地図は語る 夢とロマン —

昭和58年10月8日(土)～11月23日(水)

午前10時～午後5時(入館は午後4時30分まで)

(月曜休館 但し10月10日は開館、10月11日と11月4日は休館)

観覧料／一般 700円(600円) 高大生 500円(400円)

小中生 300円(200円) ()は前売料金及び30名以上の団体料金

主催／神戸市立博物館・神戸市教育委員会



坤輿全図(部分)

不正確な地図であつても、そこにはさまざまな「思い」「夢」「ロマン」がある。安土桃山・江戸時代を中心には、紙、屏風、皿等に描かれた古地図から、当時の人々の「こめられた思い」を探る事ができる。

神戸市立博物館

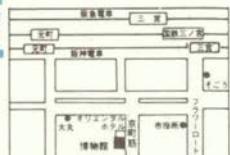
神戸市中央区京町24番地

TEL (078) 391-0035

■国鉄「三ノ宮」「元町」から南へ徒歩約10分

■阪急「三宮」或「三宮」または「元町」から

南へ徒歩約10分



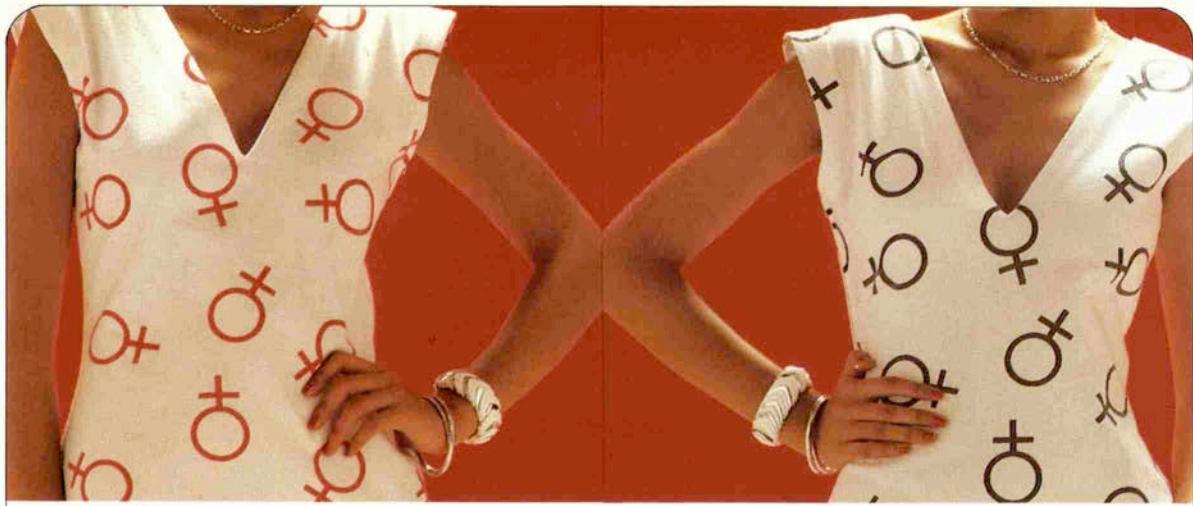
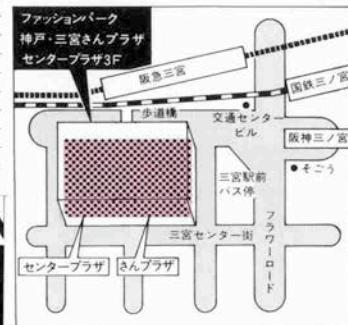


PHOTO:MAMIKO MANABE

♀たちへ。ファッションパーク

神戸・三宮さんプラザ センタープラザ(3F)

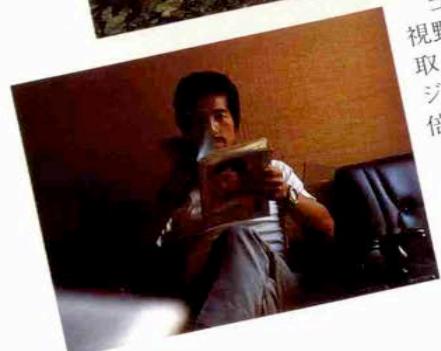
リザ・サロン	新宿・高野
ベンチ	BONカヤ
Caro's	ココ山岡
VICTOIRE	ルベール
ダイアナ	ブランコ
モイズ・ア・ダイアナ	ホットマン
ランブ	エタム
東京屋	三愛
CAN	エスエス
グルラン	新宿・高野 TEL 03-3211-0011 FAX 03-3211-1098



**FASHION
PARK**



ポートレートも
キャラクターの
時代



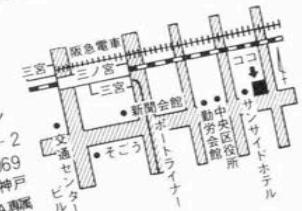
コマーシャル作品/エディトリアル
視野を拡げて、ポートレートのジャンルから
取りくむため、三宮東ビルの2Fスタ
ジオから6Fへ新築移転。スペースも
倍の広さになりました。

キャラクターに合わせたポートレー
トを新しい感性で挑戦します。お気軽
にご来室ください。

日本広告写真家協会会員杉尾友士郎

Bonheur

フォトスタジオボンヌール
神戸市中央区雲井通4丁目1-2
三宮東ビル6F 078(252)0069
結婚式場/生田神社・神戸
YMCA専属



☆私の意見

兵庫県立近代美術館を

文化発展の最前線に

金井 元彦

△兵庫県立近代美術館館長▽



兵庫県立近代美術館は、昭和45年、私が兵庫県知事在任中に設立されました。このたび、その近代美術館の第3代目館長に就任致しましたが、その縁の深さに驚くとともに、責任の重さを改めて感じています。

設立当時は、高度経済成長も終りに近づいた頃で、これからは「心」の時代に向かうという時期でした。従つて、県政百年記念事業のひとつとして、美術館設立の構想がすぐに思い浮かびましたが、具体的な形となると何かと難しく、4年の歳月を費しました。特別の美術コレクションを所蔵していたわけでは決してありませんので、どのような美術館にすべきか、いろいろのプランを練りました。設計を村野藤吾さんにお願いし、所蔵庫などのいわば「裏方」も完備した日本有数の施設が出来上がり、スタッフとともに大喜びした事が想い出されます。

美術館は、単に美術品を展示するだけでなく、鑑賞された方が自らもっと勉強してみたいという要求を受けとめられる装置をもつてすることが望ましいわけですが、実技指導や美術講座の開講などができる美術館としては、日本における第一号であったことを大いに誇るべきでしょう。

優秀なスタッフに恵まれたおかげで、開館以来、いい企画が続いているようです。これまで歩いてきた道をますます発展させ、ひとりでも多くの方に美術に触れていただけるよう努力を重ねたいと考えています。

日本での美術展は、新聞社主導型がまだまだ強いようですが、海外では、美術館同士の交流をベースに行われるのがごく普通です。今後は、海外の美術館との交流が積極的に行われることは必至でしょうし、その意味で館長としての役割も、また一段と重要なになってくるものだと思います。

設立の時点では、多くの意見を集約したように、これらも、大勢の方のお声を頂戴しながら、どのような展開をしていくかを、じっくりと考えてまいりたいと思ってます。

△談▽

ハネムーン・パーティー 親しみ・なごやかの二次会

厳かで格調高いご披露宴の後は親しいお友達とで
親しみの二次会パーティーをお推めします。
ご披露宴で、でなかった楽しい話題の花が咲き
門出のお二人の祝福に咲きみだれた、
幸せの輪を贈りませんか。

当ホテル、スカイレストラン／アッパー・ラウンジ
エリートセブン／セラーバー ラ・ランドでは、
ご予算に応じ各種二次会プランをご用意しております。
お気軽にお申しつけください。

ハネムーン・パーティー

幸

¥5,000
(税・サ共)

お飲み物
スコッチウイスキー
ビール
ジュース
コーラ

お料理の一例
メロンとハムのイタリア風
流れ子のマリネー
貝柱とサーモンのデコレーション
魚のテリーヌ
かに爪のマヨネーズゼリー寄せ
ハムと鶏の玉子のショーフラワー

ハネムーン・パーティー

福

¥3,000
(税・サ共)

お飲み物
国産ウイスキー
ビール
ジュース
コーラ

お料理の一例
スマーカーサーモンレモン添え
海老のマリネー
セロリのうにバター詰め
サラミソーセージ
テリーヌ

5名様よりご利用いただけます。

●ご予算に応じて各種プランもご用意させていただきます。

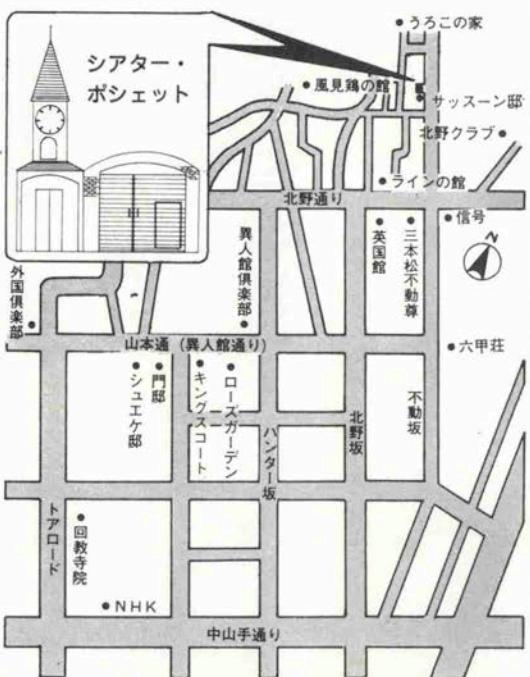
神戸オリエンタルホテル

神戸市中央区京町25番地
TEL 078(331)8111宴会課

北野からマイクロ・カオスへの誘い

実験交流サロン

シアター・ポシェット



★シアター利用のご案内

- 曜日、時間 / 土、日曜日（通常）A.M10:00～P.M 8:00
- 費用 / ホール設備の使用無料。光熱、空調、管理費のみ実費
- 付帯設備 / グランドピアノ・エレクトーン・録音、音響機器、ミキサー、照明コントローラー、テーブレコーダー、マイク、映写機等
- お申し込み、お問い合わせ

そごう前センター街東南角、さんちか入口

〒650 神戸市中央区三宮町1丁目5-1 住友銀行ビル6F
佐本小児歯科 佐本進 ☎ 331-6302～3

隨想



カット/片山直「顔」

見惚れていた。

突然「こちらに来て下さい」とガイドの声。

温室を出た所に、キヤンピングカーが数台。のぞいてみると、洗濯物や鍋・食器がやや乱雑に置いてある。中からジブシー風なおばさんが、ニット笑って、手を振つてくれた。バラ園とジブシー。妙なとりあわせだ。

次に天井がすごく高い建物に案内された。広い空間に机と椅子が学生食堂のように並べてある。少しヒンヤリして気持が良い。そこで作業をしているグループがあつた。よくみるとジブシー風な人達だ。一生懸命にバラの苗木を接ぐ作業をしている。説明によると、

彼等は、オーストラリアからだんで作業をしているグループがあつた。よくみるとジブシー風な人達だ。一生懸命にバラの苗木を接ぐ作業をしている。説明によると、



『蝶ネクタイ』の バラのエースたち

東郷 武久

（サムホール・オーナー）

くだりである。

少し蒸している温室。バラの甘い香りがムンムンする。世に出たバラは、それぞれにすばらしい名前をもらっている。キヤラミ、ブラックティ、ブルームーンなど。しかし、ここバラは未だ番号で呼ばれている。関係者のみが解る記号で書かれた、色とりどりのタグが、蝶ネクタイよろしく結んである。未来の「バラのエース」たちである。

その中で、来年は、このバラが世界的に注目されるのでは? とひらめくバラがあった。名なしの権兵衛だが、誇らしげに咲いている。花の「色・形」、葉の「ツヤ・形」、「全体の姿」、さらに、命のため、解らぬ符号もバチリ。このバラは、どんな名前で社交界にデビューするのか。そんなことを考えながら



初代コルデスの碑

冒頭から硬い数字の話で恐縮。といつても大根、大豆の種子の話ではない。7月に訪れた、ドイツの有名なバラの育種家「コルデスバラ園」での、バラの品種改良の

だんと、バラを追いかけて、北の国へ上つてくる、芽接ぎ専門の渡り職さんとのこと。まるで養蜂家のようだ。何万本も苗木をつく

る、世界でも珍らしい専門職だ。先ほどのキャンピングカーのなぞも解けた。

貴重なバラの資料、来年のすばらしいカタログを戴き、再び訪れることが願つて、コルデスバラ園を後にした。

あふれるように花が窓々に咲きこぼれ、ハンブルグの街みなままで絵のような風景にはいつも感激する。「みんなに花の美しさを見て喜こんでもらうんです。庭もそうですが、特に窓辺の花の飾りかたは、その家の奥様の評価になるのです」帰りの車で、眼のやさしいドイツ婦人が話してくれた。

ヨーロッパの人々の花に対する愛の深さがそこにある。ナポレオントをかたむけながらの夜も更けて来た。ジョセフィヌが愛したバラの数々に想いをはせながら……そしてコルデスバラ園の蝶ネクタイの君達にいつの日か会えるのを楽しみに、ドイツでの最後の夜を心ゆくまで味わつた。

次回作は神戸の冬……

白羽 弥仁

（映画團エレファントアイズ代表）



筆者（中央）とその仲間たち

ワタクシ映画を作つておりまして、三月撮影、五月録音、七月仕上げ、そして上映会というのが内訳である。主演の辻本敬仁（僕の映画の看板スター）が、「十代最後の映画にふさわしい」と、僕が書き上げたばかりのシナリオを読んで快哉をあげてくれたのが一年半前の五月。二言目には「映画撮らにやーな」と呟いていた浪人時代。辻本君もせつから現役で大学に入ったのに、面白くないらしく、時々僕の家にやつてきては「来年は必ず……」と言いあつていた。（大学に入ることよりも映画を撮るという意味の方が強かった。）

そして今年三月。三年振りに僕の「ヨーイ、スタート！」の声がかかった。と、こう書けば巨匠の何年振りかの意欲作という感じに受け取られるかも知れないが、八ミリ、四十分のささやかな極私的映画である。三年振り……そやなあ、最後に撮つたのが高校二年の時やもんなあ……もう僕の映画では三本出演の「ベテラン俳優」

も、中学二年の時から一緒に「年助監督」も、万感の思いだつたに違いない（と、書いておこう）

スケジュール調整に大わらわでついに倒れてしまつた助監督、監督の言うことにいちいち逆らうキヤメラマン、同時録音のカセットに自分の不平をぶつぶつ録音する

録音マン、撮影の移動中に俳優と一緒にドライブに行き、次の集合場所に悠々遅刻する男優、そして初めてのキスシーンの演出に俳優よりもオロオロする監督、エキストラのお姉ちゃんたちに車座に囲まれ正座させられる監督、女優がいないと途端に撮影のスピードが速くなりスタッフの非難を浴びる監督……とまあ、素人映画集団の二週間に及ぶ失敗多々怒号連発不満爆發和氣あいあいロケはこういう風にして続けられ、そして終ったのだった。

「典型的中産階級映画」「女性の描き方がクール」「ストーリーがわかりにくく」「そんなことはない、わかりやすい」「編集が凝つてるなあ」「監督は女で苦労したんですか?」「あんなに女優をきれいに撮つたのは、ホレてるからやないですか、監督」……。

七月三十日から八月五日まで神戸シネマハウスでの上映会は連日盛況のうちに幕をとじた。皆さん勝手なことを言つて下さる。それ

ぞれ貴重な御意見と自分に言いきりさせておりマス。

現在、僕は東京暮し。村上春樹氏のように、神戸を離れて東京暮しを始めたことに「心の底からホントした」という境地には仲々到達しない。まだまだ撮り切っていられないこの街を撮り続けていこうとささやかな決意がある。次回作は冬、ハイ・センスでスタイリッシュな……いや、やめておこう。秘密ヒミツ。撮影、上映を通じてご協力頂いた方々、本当に有難うございました。またお世話になると思います。その折には宜しく。

阿波踊とディスコで フレバー！

小山乃里子

（ラジオタレント）

「まつりわあ～」カモカ連と書かれたちようちん片手に、兄イチやんがこちらをむきながら叫ぶ。
「カアモカ、レンレン～」

続いて私の出番。ヤツトナアヤツ

トナア～ヤツトヤツトヤツトオ～どうも、この最後の、ヤツトウ～と延ばす所がいけなかつたみたいキヨちゃんが、「ねえ、ノコが言うと、ナツトウ屋さんの売り声みたさよ～などとぬかす。ダマレ！」商売用の声からしてまでがんばつてんだぞ。それにしても暑いねえ。普段薄手のパンツか、キュロットばかりはいてる身には、この、ゆかたとお腰が足にまとわりつく感覚は、なんともうつおしい。たまりかね裾をめくつて歩き出した。とても、大阪や神戸いやこんなかつこは出来ないよ。あーあ。男踊りにするべきだつたなあ今岡のショーコちゃんや加藤のキヨちゃんや、チューーコや、東京から編集者の何人か、そでをたくし上げ、白いき股もキリリツと決まり、頭の鉢巻を、くるくるまわしながら歩いてる。

だけど、あの、き股って面白いね、お尻が割れていて、まるで中国の幼児服みたい。細い人はいいけど、ある人なんか（あえて彼女の名前）が名前で出番はないが）どうやっても後がボカツとあいてしまう。

「これダメダメ、L寸のなあい、でつかいの～」

その彼女も、どうやらびつたりのを見つけたらしく、目の前を歩いている。どうしても、目が、はん

天の下にいってしまう。さあ、市役所前の演舞場に着いたぞ。

うわあ、すごい人だなあ。ちょ

うちの山、人の群れ。様々にゆかたが、自分の連の出番を待つている。「ちょっと見て来ます、これ持つてて下さい」私の手にちょっとを押しつけて、兄イチちゃんがゆかたの中に消えた。兄イチちゃんは二年前からカモカ連がおはしゃしをお願いしている葉月連の一人である。我々の宿舎「宝泉閣」の近所で喫茶店をやつてゐる。ちつとももうからない、と道々ボヤいていた。でも、今は最高に張り切つてゐる。こういう所が阿波踊りらしくて好きだ。カモカ連は二十四番目。マイクがようやく我々を呼び出して、さあ、みんなさん、出番ですよお～。いよいよ、さつき練習した通りのカケ声で、踊りは始まつた。

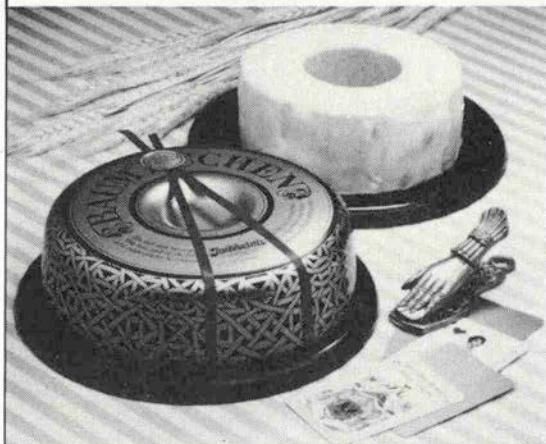
実にそう快である。両手はいささかしんどいが、ゲタのはな緒は指に食い込むが、そんな事かまつちやいられない。市役所前を皮切りに、三カ所踊り回つた。そして宿舎に帰り着くと、カラコロゲタを鳴らして銭湯へ。

その夜、疲れ切つてはいるはずなのに、みんな今度はディスコでフレバー、イエイエー、総勢六十四名、カモカ連、今年も徳島の街をにぎわしてまいりました。



小山乃里子（右）お聖さんとカモカのおっちゃん

バウムクーヘンが生まれ変わりました！



ドイツ伝統の味を守りつづけたユーハイムのバウムクーヘンがまたひとつ、おいしさの年輪を重ねて生まれ変わりました。

アールデコ調のすてきなパッケージで新登場。よりソフトに、よりしっとり、まろやかな味わいになりました。一層ずつていねいに焼き上げたぜいたくな風味のバターケーキです。



ユーハイム

Come back to KOBE

また帰る日を願って
あなたの青春を
はこびます



神戸発全国便

小さな引越し受付中

24時間営業 / 年中無休

【梱包便】電化製品、家具類、エレクトーン、自転車等、美術品、骨董品（どんなワレ物でも御相談に応じます。但し地域限定）

ユーミノルサービス

(〒658) 神戸市東灘区住吉南町1丁目10-1

本社 (078) 822-1700 (代)

芦屋営業所 (0797) 23-6710

個性尊重、ルネッサンス会

野澤太一郎

（ルネッサンス会代表世話人）

「趣味というものは、無から有を生じるが、道楽は何一つ生むものがない」

これは、今から25年程も前、私が社会人になってまもない頃、加納町のバー、アカデミーの親爺さん

に言われた言葉です。親爺さんは道楽にすぎず、創造性という点では生みだすものがない。それに比べて絵を描くことは立派な趣味であり、趣味は人生を豊かにするものだから、あなたも何か趣味をもちなさい、という意味で、私にとって、以来ずっと耳にこびりついていた言葉でした。

また、暑中見舞や年賀状など、



中西画伯の熱心な指導をきく

葉書にさりげなく水彩で描いたもの

をいただいたことがあります。その洒落た絵は実に心憎くもあり、絵の心得のある人間に対してうらやましい氣さえあつたのです。とはいへ、私のような絵心のない、むしろ絵を描くのがおっくうな者にとって、絵画教室の門を叩く勇気はなく、ついつい年月が経つてしましました。

そんなところへ甲南高校の先輩であり、当時日本銀行神戸支店長であった和栗俊介氏の発案で、油絵をやってみないかという誘いがありました。ゴルフやお酒のつきあいよりも、自分の“趣味”として油彩を始めてみる、ということに共感を得たバンドー化学株の櫻木茂男氏、三輪運輸工業株の三輪吉郎氏など、私と同様の思いを抱いていた人たちが集まり、昭和56年2月に初会合早速、絵筆を持つて例会の第1回を行ないました。

和栗氏はいつのまにか中西勝画伯を説いてその会の指導役として招いてきたのには驚きました。会はルネッサンス会と命名され、月2回の例会日を各自スケジュール調整して集まり、春と秋は

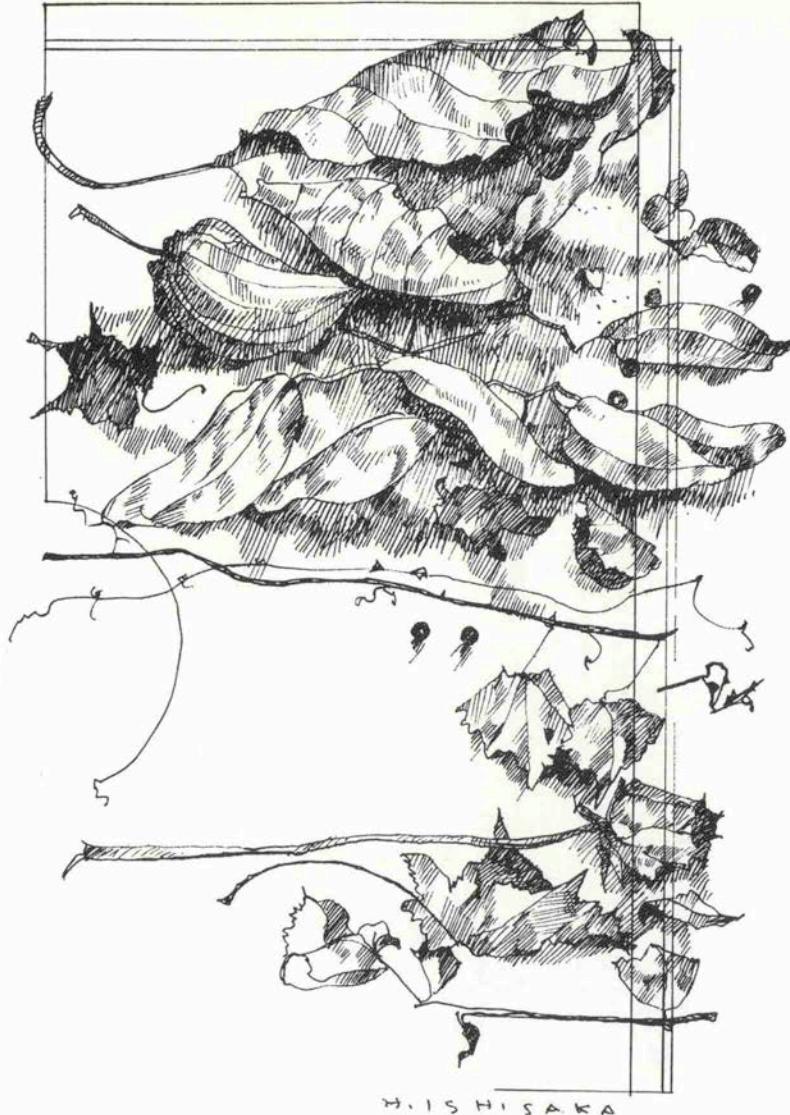
戸外での写生大会として、ようやく2年を経、会員それぞれの熱心な努力が実りはじめた様子です。発会当時の会員は転勤などで会員規約などというものを設けず、会そのものが会員の自主的な勉強心によって運営されていることもルネッサンス会の特長といえます。

現在、会員数は11名で、小林博士氏（小林桂株）、五代友和氏（摩耶商事株）、井上賢一氏（内外通商株）、宮永昌明氏（株ミヤナガ）、丸山滋夫氏（丸山印刷株）、角田嘉宏氏（角田内外国特許事務所）西宮章泰氏（大工建設株）、澤田善吾氏（八千代石油株）など、会員全員が非常に熱心で、例会日以外にも家で自分なりの勉強をしている者もいるようです。

それというのも、ひとえに中西画伯のご指導によるものと有難く思っております。8月にはカンバスをはなれ、先生のお宅で美術の話を聞かせていただきましたが、先生の熱心な指導をうけるうちに私たち一人一人が、いつのまにか創造することの歓びを感じはじめたことを強く実感している今日この頃です。

詩心象

詩・安水 稔和
画・石阪 春生



さかのさき

幼い私を膝にのせて眼を閉じて母はでかける。風渡る揖保川を渡り昼下りの人けのない城下町を抜けると白く乾いた道が西へのびている。おがみ。けいうんじ。しみずしん。なかがいち。かまえ。池があつて坂があつて琴坂。坂をこえると母の生まれた村。

ついたよという母の声。もつと行こうよ。母の膝を揺すつて私はいつものる。白い道が谷の奥へのびる。なかだに。だんよ。さみず。うるすべ。おくらうち。池があつて坂があつて名なし坂。そのさきは。坂のむこうには。母は黙つて幼い私を抱きしめる。